

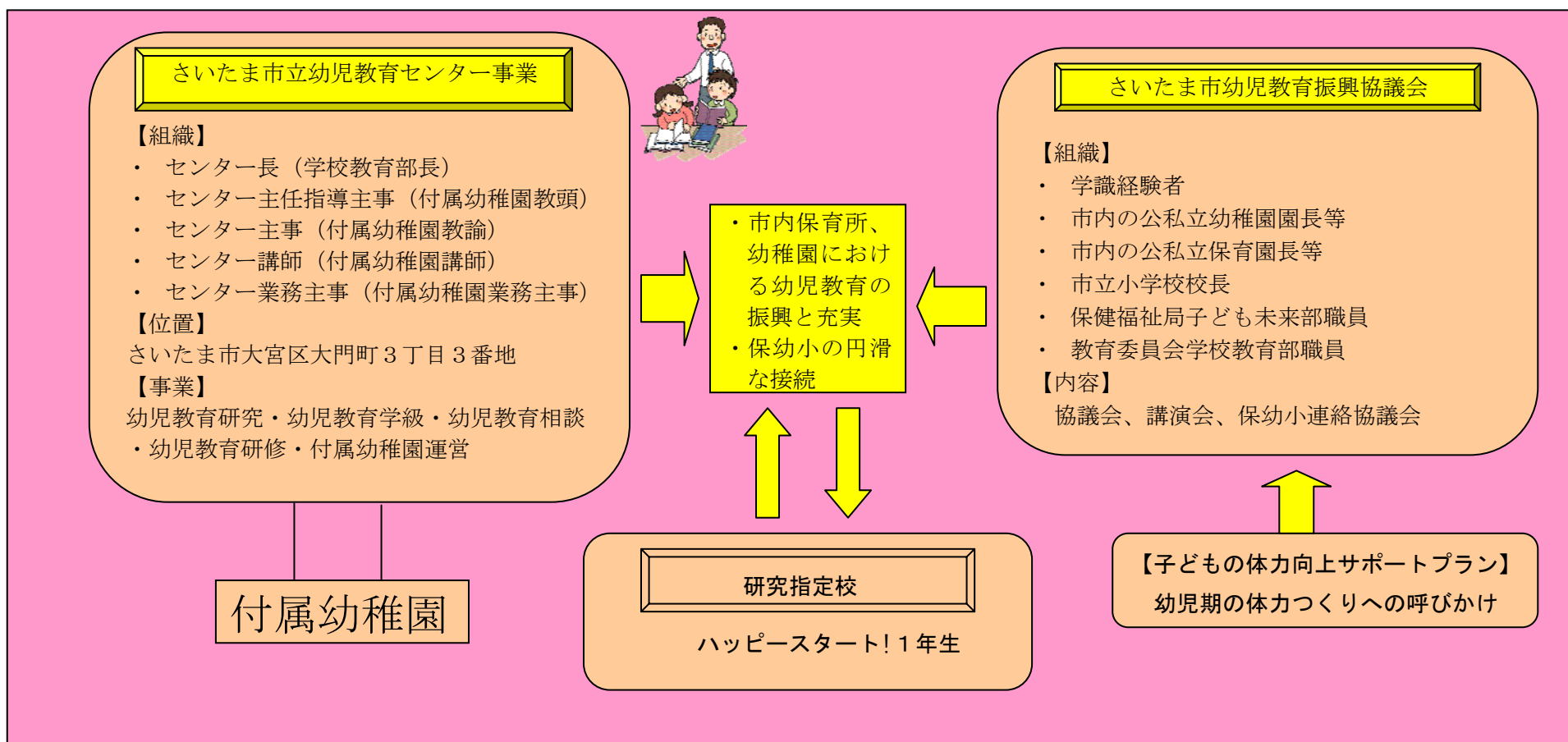
## 【個別事業 イメージ図】

### <事業名> 保幼小連携推進プログラム

#### <目的>

幼児教育と小学校教育との系統性・関連性を明確にし、保幼小のより一層の連携を図る。

#### <全体像>



(案)

# 保幼小連携推進プログラム

大柱	中柱	小柱	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
教育条件・教育環境の整備	さいたま市立 幼児教育セン ター事業	幼児教育研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児教育の指標」と「幼児教育の実際」を隔年で作成配布。</li> <li>・調査結果の概要版を幼稚園児・保育園児・小学生を養育する市内全ての家庭に配布。</li> </ul>					→
		幼児教育学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に住む幼児を養育する保護者の家庭教育を支援。(年7回)</li> <li>・3歳児の保護者を対象とした学習講座と3歳児の集団保育</li> </ul>					→
		幼児教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児、3歳児の保護者を対象とした学習講座と集団保育</li> </ul>					→
		幼児教育研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児上の悩みや疑問について専門家による個別相談(年2回)</li> </ul>					→
		付属幼稚園運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公私立保育園の保育士、公私立幼稚園教諭、市立小学校教諭、市立特別支援学校教諭等を対象とした実技研修と幼児教育センター付属幼稚園の公開保育及び研究協議会</li> </ul>					→
	さいたま市幼 児教育振興協 議会	協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研究園(公開保育及び研究協議会)</li> <li>・さいたま市立大宮小学校との交流</li> </ul>					→
		講演会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育振興協議会事業及びさいたま市立幼児教育センター事業に関する協議(年2回)</li> </ul>					→
		保幼小の連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公私立保育園の保育士、公私立幼稚園教諭、市立小学校教諭、市立特別支援学校教諭等を対象とした講演会(年2回)</li> <li>・2回目の講演会は幼児を保育する保護者も対象</li> </ul>					→
	研究指定校	ハッピースタート1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校で近隣の保育所、幼稚園と意見交換、公開授業、公開保育</li> </ul>					→
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園の公開保育へ小学校教諭の参観、協議</li> </ul>					→
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割の弾力化、保幼小の連携、など指導内容、方法を工夫</li> <li>H20さいたま市立仲町小学校研究発表(成果はさいたま市小学校教育課程編成要領「生活科」に反映) H20, 21さいたま市立大宮小学校研究指定 H21, 22さいたま市立仲町小学校・岸町小学校研究指定</li> </ul>					→

保・幼・小の円滑な接続

(3) 視点1 学びの明確化 ～幼稚園と小学校の情報交換から～

第1回目 指導案(単元の流れ、児童の意識の流れ)について

小学校: 単元における児童の実態、意図

幼稚園: 単元の流れにそった4・5歳児の実態やこれまでの経験

本活動で4・5歳児に期待できること

交流することに対する実態

- ・1年生のとき招待されているので、今年は、1年生や幼稚園の子に来てもらうことを楽しみにしている。
- ・自分の生き物に対する思いをうまく伝えられない児童、年下の子に声をかけられない児童もいる。

- ・元気のいい子が多いが、慣れない場所や慣れない人とは、全く活動できず固まってしまう子、緊張状態から「つまんない」と言ってしまう子もいる。

生き物との触れ合いの経験について

- ・植物に対しては、非常に愛着をもって育てているので、虫も一生懸命育てると思う。
- ・2年生の中にも、虫に触れない児童がいる。クラスにダンゴムシを持ってきた児童がいるが、そのまま死んでしまった。

- ・5歳児は、生き物が大好きで、ダンゴムシ、カタツムリ、ナメクジなどを手に取って遊ぶなど、生き物に関わる経験が豊富だ。
- ・生き物を育てた経験がある子もいるけれど、土を入れたり葉を入れたりせず、採ってきては亡くなって…ということを繰り返している。

単元の意図

- ・この単元を通して、児童には、親しみをもって大切に育てた生き物に愛着を持たせたい。
- ・4・5歳児や1年生に分かるように工夫して伝えられるようにさせたい。

- ・園庭で捕まえられる小さな生き物以外の生き物を見たり触ったりすることに興味をもたせたい。
- ・継続して飼育するという2年生の活動を見せたい。

第2回目 本時の流れの確認、児童と4・5歳児の動き、教師の支援について

- ・5歳児は、友達の方が心強いので男女のペアで自由に回る。去年の生き物ランドのことを覚えているので、様子が分かっている楽しんでしている。
- ・4歳児は、ペアは組まずに自由に回る。4歳児は、会には参加せず活動に参加するだけで精一杯だろう。来年度は、4歳児が参加することも検討する。

事前にインタビューをする5歳児を決めておく。1年生は、挙手をした児童から2人にインタビューをする。

2年担任は、5歳児には会が楽しめたこと、1年生には1年生としてのめあてをがんばれたことを称賛する。また、2年生に活動を振り返らせ、ねらいが達成できたことを称賛する。

7月7日(火)「生きものランド」	
かい( )	しせいを 正しく してください。これから「生きものランド」をはじめます。よろしく おねがいします。
はじめのことば( )	1年生と すみれくみんの みなさん。今日は、生きものランドに来てくれて、ありがとうございます。わたしたちは、いろいろな生きものをたいせつに育てています。いっしょに見たり、観察したりして、生きものも なかよくなりましょう。2年生のみなさんは、1年生と すみれくみの 授業たちに、わたしたちの 生きもののごとき、たくさん、習っていきましょう。
しかい( )	次に、まわりかたの せつめい書( )さん、おねがいします。
せつめい( )	生きものランドは、2年1くみと2年2くみでやっています。1年生と すみれくみのみなさんは、どちらの教室に行ってもいいです。分からないことは、2年生に聞いてください。審判がなったらお楽しみですよ。この教室にもどってきてください。
しかい( )	つぎに、2年生の( )先生のお話しです。
2年生の先生	これではじめの会をおわりにします。2年生のみなさんは、しゅんぴをしてください。1年生と すみれくみの みなさんは、ここで遊んでください。
1年生とすみれくみさんは、準備ができるまで、先生からの声も聞いて待つ	
かつどう	15分間
おかたづけ	25分間
しかい( )	これから、おわりの かいを はじめます。はじめに、かんそうも聞きます。インタビューの( )さん、おねがいします。
インタビュー( )	はじめに、1年生のお友達に 聞きます。今日、楽しかったことや よかったことを お話してください。(2人)
しかい( )	つぎに、すみれくみさん、のお友達に 聞きます。今日、楽しかったことや よかったことを お話してください。(1人)
2年生の先生	さいごに、2年生に 聞きます。今日、よかったことを 発表してください。(2人)
しかい( )	これでインタビューをおわりにします。
しかい( )	楽しくできて、よかったですね。つぎに、ようちえんの( )先生のお話しです。
幼稚園の先生	つぎに、1年生の( )先生のお話しです。
しかい( )	つぎに、2年生の( )先生のお話しです。
2年生の先生	きょうは、1年生と すみれくみさんと いっしょに 生きものランドができて、よかったです。しせいを だたく してください。これで「生きものランド」をおわりにします。ありがとうございました。

- ・5歳児は、「すみれくみさん」、4歳児は「たんぼぼさん」という名称で呼ぶと、自分のことだと認識しやすい。
- ・会の並び方は、入り口側が2年生、窓側が1年生、真ん中に5歳児を挟む。

ここでは、2年担任は2年生に対してめあての確認と意欲が高まる言葉掛けを行う。

2年生が準備をしている時間に、1年担任は1年生に、5歳児担任は5歳児に、期待感を持たせる話をする。また、手遊び歌などを行い、気持ちをほぐさせる。

5歳児担任は、5歳児に、楽しく活動できたことを振り返らせる。また、5歳児の気持ちを代弁し、2年生に感謝の言葉を掛ける。

1年担任は、1年生に活動を振り返らせ、ねらいが達成できたことを称賛する。また、2年生に感謝の言葉を掛ける。

実線枠は園児の参加方法について、太点線ははじめの会について、点線はおわりの会について

7. 本時の学習活動 ( 8/9時間 )


- (1) 目標 生きものを育てることを通して気付いたことや感じたこと、考えたことなどを、1年生や4・5歳児に分かるように伝えることができる。  
 (【1年生の目標】いろいろな生き物に興味をもって、2年生の発表を聞くことができる。)  
 (【4歳児の目標】生活に関係の深い環境・施設とかかわることができる。)  
 (【5歳児の目標】生活に関係の深い環境・施設に興味や関心をもつことができる。)

(2) 仮説を具体化するための手だて

視点(2)の① ・1年生や4・5歳児が生き物に親しみもてるように、生き物を見せたり話をしたり触らせたりするなど表現の方法を工夫させる。

(3) 展開

※ゴシック体は仮説を検証するための手だて

児童の活動	支援(○) 評価の視点(☆) 見取りの視点(◎) 留意点(・)	《1年生》支援(○) 留意点(・)	《4・5歳児》支援(○) 留意点(・)
<p>1 本時の活動を確かめる。</p> <p>2 1年生や4・5歳児に自分の生き物を紹介する。</p>  <p>3 おわりの会で、「生きものランド」の感想を互いに発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1組グループは児童会室、2組グループは2年学習室ではじめの会を行う。</li> <li>・会に対する自発的な気持ちを高めるよう、実行委員ではじめの会を運営させる。</li> <li>・活動内容を提示し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・本時のめあて・活動場所を確かめさせる。</li> <li>・1年生や4・5年生とのかかわり方について、話合ったことを確認させる。</li> </ul> <p>・1年生や4・5歳児が生き物に親しみもてるように、生き物を見せたり話をしたり触らせたりするなど表現の方法を工夫させる。</p> <p>(2)の①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生や4・5歳児の反応に臨機応変に工夫して接している児童には称賛の声をかける。</li> <li>○1年生や4・5歳児との交流に戸惑っている児童には、思いをくみ取り、言葉を付け加え、話ができるようにさせる。</li> <li>☆1年生や4・5歳児と交流することに関心をもち、進んで自分の育ててきた生き物のことを伝えようとしている。(ア)のd【行動・会話】</li> <li>◎1年生や4・5歳児にわかる話し方で生き物のことを伝えている。</li> <li>◎1年生や4・5歳児が楽しんでいるかをうかがっている。</li> <li>◎回数を重ねることで相手に応じて伝え方をかえている。</li> <li>☆気付いたことや感じたことを、生き物とふれあいながら生き物の特徴を生かして表現している。(イ)のd【行動・会話】</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1組グループは児童会室、2組グループは2年学習室でおわりの会を行う。</li> <li>・1年生や4・5歳児の話を聞いて、生き物のことをわかるように伝えることができたか、「生きものランド」を楽しんでもらえたかを振り返らせる。</li> </ul> <p>(◎事後、楽しかったことやうれしかったこと、がんばったことなどを発表したり、ワークシートに表したりしている。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しく回れるよう、児童の意欲を喚起させる。</li> <li>○自分からかかわりをもてない児童には、どんな生きものが好きかを聞き、一緒に回る。</li> <li>○2年生の話がよく理解できない児童には、言葉を補足する。</li> <li>・担任も一緒に回りながら、児童の様子を見るようにし、すぐに声がかけられるようにする。</li> <li>・4・5歳児への言葉掛けも同時に行うことで、児童に小さい子へのかかわり方に気付かせる。</li> <li>○初めて知ったことや今日の感想などを、2年生へ伝えられるよう思いをくみ取り言葉をつけ加える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊張する気持ちを和らげるよう、担任も笑顔で明るくあいさつする。</li> <li>○小学生の話を興味をもって聞けるよう、生き物を見るように促したり楽しさを表情や態度に表したりする。</li> <li>○不安そうな子には、寄り添って一緒に楽しむ。</li> <li>・担任もいっしょに驚いたり感心したりして、楽しい雰囲気をつくる。</li> <li>○小学生の発表内容や、見せてもらった生き物について発見があった子には「いいことがわかったね。」などと声をかけ興味をもてるようにする。</li> <li>・担任も小学生への質問や称賛をし、園児が小学生に親しみもてるようにする。</li> <li>・「幼稚園でも飼ってみたいね。」などと声をかけ、身近な生き物の飼い方、住んでいる場所などでわかったことを、今後の生活に生かそうとする気持ちをもたせる。</li> </ul>

### 3 その他の資料

#### (1) スタートカリキュラムについて

遊びや生活を中心とする幼児教育と教科の学習を中心とする小学校教育との間には、大きな違いがある。1年生の児童が、その違いを乗り越え成長できるようにするため、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るスタートカリキュラムの作成が必要である。

#### (2) スタートカリキュラム作成上の留意点

- ア 各教科の特性・教科の目標・内容を明らかにし、構成する。
- イ 各教科の年間計画・行事計画・保健計画等を考慮する。
- ウ 幼稚園・保育園の生活に近付けるよう以下のことに配慮する。
  - ・15分～20分単位の活動を計画する。
  - ・活動場所・学習形態を工夫する。（黒板の前で座って読み聞かせ。教室の後ろで並びっこ。教室全体で「貨物列車」の歌遊び等）
  - ・関連的な学習を進める。
  - ・体を使う学習を入れる。
- エ 補助を行う教師・養護教諭・学校図書館司書・地域コーディネーターとの連絡・調整・確認をする。

#### (3) 実施にあたって

- ア 文字による指示はこの時期の児童にとって難しいので、写真や絵、図を使うとよい。
- イ ゆっくりと丁寧に話し、明るい雰囲気づくりに努める。

## スタートカリキュラム例(入学当初)

月・日(曜)	4月8日(木)	4月9日(金)	4月12日(月)	
学校行事等	始業式 入学式	下校コースの編成	対面式の練習	
始業前 (登校時～ 8:25)	<午前中>準備最終チェック	登校した児童から置き場所を指導する。 ・ランドセルと防災頭巾。 ・筆箱、連絡袋等は机の上に置く。	・ランドセルの中の文具のしまい方を指示する。連絡帳確認を毎日行う。 ・体育袋を掛ける場所を指示する。	
朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式場(椅子の数、学級の表示)</li> <li>・昇降口の表示</li> <li>・教室(清掃・机・椅子)</li> <li>・受付セット</li> <li>・クラス別一覧表</li> <li>・教室、廊下の表示</li> <li>・トイレの清掃</li> <li>・修正セット(名札、表示等)</li> <li>※入学式時の担任の挨拶の練習</li> </ul>	健康観察	健康観察・対面式の説明	
第1校時		8:45 9:00 9:15	国語 あいさつ、返事の仕方 椅子の座り方 手の上げ方	学級活動 学習用具のしまい方 時間割の見方・揃え方 「みんななかよし」 名前を元気に言う。
		9:30	体育 並びっこ 名簿順に男女一列縦隊	生活 水道の使い方、ハンカチの使い方、しまい方
第2校時		9:35 9:50 10:05 10:20	学級活動 トイレ・靴箱の使い方	体育 並び方・歩き方
	10:45 11:00 11:15 11:30	音楽 対面式の歌「1年生になったら」の練習	国語 対面式の呼びかけ	
第3校時	10:45 11:00 11:15 11:30	学級指導 帰りの用意 下校コースごとに教室の決められた場所に並ぶ	音楽 歌「1年生になったら」の練習	
		学級活動 10:50 教室出発 校庭のコース別集合場所に並ぶ 11:00 下校指導 ・クラス別の整列 ・名簿で確認 ・下校場所を確認	学級活動 10:55 教室出発 11:00 下校指導 ・クラス別の整列 ・名簿で確認 ・下校場所を確認	
その他	その他	その他	その他	
道徳教育	温かい雰囲気できこやかに接する。	担任との信頼関係を築くことで学校への不安を軽減し小学校に親しみがもてるようにする。	学校中のみんなが1年生が入学してきたことを喜び、対面式で会うことを楽しみにしていることを知らせる。	
生活指導	呼名に対しての返事について、どの児童にも称賛の言葉かけをする。	トイレの約束、手洗いの仕方、ハンカチの使い方、帰りの用意の仕方を指導する。	手紙、プリント等の配り方を指導する。 ・学年便り2号・時間割表 (ありがとうリレーの仕方を指導)	
環境	慣れないトイレのため、使い方を優しく指導。手拭きのためのタオルを用意。名前の修正の申し出があったら、迅速に行う。	下校コースごとに集合できるよう、集合場所にプレートを貼りつける。	朝、黒板に文具のしまい方を掲示しておく。見ながらできた児童を褒める。分からない児童に丁寧に指導する。	
安全(登下校)	廊下や体育館の入り口等の段差の歩行に注意を配る。下校コース名簿を作成し、コース担当を決める。	クラス内で下校コースの編成、整列。下校しながらコースの安全を確認する。変更がある場合は連絡用紙で知らせる。	安全に登校できたか児童に聞く。 (歩く速さ、道路の渡り方、挨拶等)	
コミュニケーション	明るく誠実な態度で分かりやすく話し、信頼感、安心感をもたせるように努める。	健康観察(元気調べ)を大切に扱い、一人ひとりと目を合わせ、親しみを込めて声をかける。	生活「みんななかよく」で自己紹介をした後、友達をつくろうゲーム(貨物列車等)を楽しませる。	
保護者への連絡	・簡単な学級経営方針 ・連絡事項の説明 ・本日記名する物 ・下校時に親子で確認する事	連絡袋を机の上に置くよう指示し、袋から連絡帳を出させ、それを開かせて保護者からの記入の有無をチェック。返事を書く。(又は、電話をすることを記す。)	下校時の解散場所にいる保護者に挨拶・お礼の言葉を掛ける。児童も共に挨拶をし、気持のよい挨拶の習慣作りをする。	
その他	・反省、記録 ・気になる児童の記録・報告 ・明日の打ち合わせ	教室への道順が分からない児童が多いので、昇降口付近に学年以外の教師に立ってもらい、声をかけてもらう。(16日まで)	教室まで送ってくれた登校班の班長や姉にねぎらいの言葉を掛ける。	

## スタートカリキュラムのもとになる各教科の単元配列例

週<時数>	第1週 <6>	第2週 <17>	第3週 <24>	第4週 <18>		
生活	「みんななかよし」 ＜みんなで遊ぼう＞② ・自分の名前・好きな遊び等を話す。(0,5)	・遊具等で遊ぶ。 (0,5) ・2年生と交流(1)	＜学校たんけんをしよう＞ ・2年生と一緒に学校探検をする。(1) ・友達と話し合っ学校探検をする。(2) ・校庭や屋上を探検する。(1)	・行きたい場所を見つけて遊ぶ。(2+常時) ・見付けたことや思ったことを表す。		
関連する教科	国語	「あいさつをしよう」	「はじめてかいたなまえ」① 「はる」①「おはなしよんで」①	「うたにあわせてあいうえお」③	「たんけんしたよ 見つけたよ」⑤	
	算数	学年、クラス、出席番号を覚える	「なかまづくり」①	くらべよう①	「かずのなまえ」 「10までのかず」⑥	
	音楽	場所・使い方を知る ・教室、トイレ、靴箱 ・ロッカー・水道場 ・傘立て・机の中 安全な登下校 ・下校班を編成 ・下校指導 対面式の練習	「うたでもだちをつくろう」③ 「うたでさんぽ」	「ぞうさんとさんぽ」	「てとてであいさつ」	
	図工		「すきなもののいっぱい」(絵①)	「みてみていっぱいだったよ」 (立2)		
	体育		体操服に着がえる ならび方	「かけっこ」	「固定施設遊び」	
	道徳		「たのしいがっこう」	「あかるいあいさつ」		
	学級活動		「1年生になって」	「どうぞよろしくの会をしよう」 ①	「たのしいきゅうしょく」	「みんなのえできょうしつをたのしくしよう」
	その他		個人写真撮影(0,5)	下校指導②		

## スタートカリキュラム例(入学第2週)

月・日(曜)	4月13日(火)	4月14日(水)	4月15日(木)	4月16日(金)
学校行事等	対面式	身体測定 個人写真撮影	牛乳給食	1年給食開始 授業参観・懇談会
始業前(登校時～8:25)	・算数セットの置き場所を指示 ・対面式に向けて並ぶ ・提出物の回収(問診票等)	・給食着袋を掛けるところを指示 ・雑巾の掛け方を指導	・給食小袋を机の横に掛けることを指示 ・粘土・粘土板のしまい方指導	連絡帳での下校の連絡を把握
朝の会	対面式でもらったメダルを連絡袋にしまわせる。元気調べ	元気調べ 日程の確認	元気調べ 日程(牛乳給食)の確認	元気調べ 日程・下校を確認
第1校時	8:45	算数 「なかまづくり」ならびっこ 自分の番号を知る	行事 身体測定 脱いだ衣服の整頓 (終わったら、教室で 図画帳に絵を描いて 待つ。)本部の先生が クラスごと引率指導	国語 「はる」 「おはなしよんで」
	9:00	国語 筆箱の使い方 鉛筆の持ち方 書く姿勢 プリント		音楽 「校歌をおぼえよう」 「貨物列車」
	9:15			第1校時 国語 「はる」 「おはなしよんで」 音楽 「校歌をおぼえよう」 「貨物列車」
第2校時	9:35	図工 「すきなもののいっぱい」(クレヨン) はじめて描いた絵として後に掲示	国語 「はじめてかいたなまえ」	学活 「ぎゅうにゅうをのもう」 給食着の着方 準備のしかた 牛乳パックの始末 歯みがき 小袋のしまい方
	9:50		学活 傘立て 昇降口の使い方	第2校時 算数 「なかまづくり」 生活 「花いっぱいになあれ」
	10:05	生活 「みんななかよし」	その他 個人写真撮影	3校時 学活 「どうぞよろしくの会をしよう」 給食指導 当番の分担・仕事 給食のもらい方 食べ方
業間	10:20	帰りの支度 トイレ 10:35 教室出発	帰りの支度 トイレ 10:40 教室出発	帰りの支度 トイレ 10:45 教室出発
第3校時	10:45	その他 下校指導 各コース毎に並ぶ 名簿で確認 11:00 出発	その他 下校指導 各コース毎に並ぶ 名簿で確認 11:00 出発	その他 下校指導 各コース毎に並ぶ 名簿で確認 11:00 出発
	11:15 11:30			
道徳教育	学校中のみんなが1年生のために準備してくれたこと、仲間になれたことのうれしさを共感し合う。	学校のすてきなところを伝え、小学校への興味・感心を高める。(保健室・校長先生)	学校のすてきなところを伝え、小学校への興味・感心を高める。(給食・飼育小屋の動物)	学校のすてきなところを伝え、小学校への興味・感心を高める。(校庭の花、木、虫)
生活指導	教室を移動するときは、並んで静かに歩くことを指導する。	体育着の着替え方、身体測定の受け方、待ち方を指導する。チャイムでの着席を指導する。	給食着の着方、机の上の準備の仕方、給食のもらい方、ストローの開け方・始末、歯磨きの仕方等を指導する。	給食当番の仕事、給食の食べ方、片づけ方等 4年生の掃除を見て、掃除の仕方を知る。
環境	朝、黒板に文具、教科書、算数セットのしまい方を掲示しておく。	体育着の着替え方を分かりやすく掲示しておく。	給食着の着方、給食帽子のかぶり方等、分かりやすく掲示しておく。	初めて書いた名前、絵画を教室に掲示する。
安全(登下校)	各下校コースの下校の様子を伝え合い、上手に下校できているコースを称賛する。	各下校コースの下校の様子を伝え合い、上手に下校できているコースを称賛する。	下校班編成クラス内で編成できない児童をコースごとに廊下に集め編成する。下校しながら確認をする。	集団下校はなし。PTAの「見守り隊」のお世話になる児童を朝の内に把握しておく。
コミュニケーション	2年生から「メダル」をもらえたことをみんなで喜び、その喜びをお家の人にも伝えるよう話す。	保健室、養護教諭に親しみがもてるようにする。(場所を覚えさせる。)	給食室では、調理員さんたちが心をこめて給食を作ってくれていることを知らせる。	4年生が教室掃除をしていることを知り、感謝の気持ちをもちお礼を言わせる。
保護者への連絡	下校解散場所で待っている保護者に明るく挨拶し、児童と共に保護者にも挨拶のよさを知らせていく。	下校解散場所で待っている保護者の質問に応えたり今日したこと等を伝えたりする。	一斉の下校指導(教師が引率)は本日で終了することを知らせ、下校のボランティアへの協力をお願いする。	保護者用の名簿、懇談会資料を用意する。分かりやすくシラバス等を懇談会で話す。
その他	問診票、引き取りカード等の整頓	個人写真撮影時に待っている間は、図画帳に取り組ませる。	牛乳が飲めない児童について調べておく。	懇談会後クラスで選出された役員部の部会を決める。